

カリキュラム

機構施設名： 秋田職業能力開発促進センター
 実施機関名： 株式会社日本能率協会コンサルティング

(A)生産管理	管理手法	製造分野におけるDX推進
---------	------	--------------

コースのねらい	生産現場で用いられる各種製造装置や製造工程の監視・制御にICTやIoTなどのデジタル化を組み込むことにより、製品やサービス、ビジネスモデルの改革(DX)を推進して、生産性向上、ビジネス競争力を獲得する方法を理解する。
---------	--

講義内容	「基本項目」	「主な内容」	訓練時間 (H)	
	1	製造業におけるDXの理解	<ul style="list-style-type: none"> ・DXとは ・DXで目指したいこと ・なぜDXが必要か ・DXの3つのステップ ・データ利活用に向けて ・ITが無くてもできるDX ・製造業におけるDXのステップ別ポイント 	1.5
	2	DX実現事例	<ul style="list-style-type: none"> ・製造プロセス分析/QC工程表と連動したIoT導入事例 ・検査のペーパーレスとデータ利活用による品質管理への展開事例 ・拠点間QCD情報のリモート入手・展開マネジメント事例 ・TPM活動と連動した設備稼働率からの改善事例 ・サプライヤーとの設計・製造データ連携事例 ・FMEAデータベース構築事例 ・生産計画変更情報の変化点管理見える化事例 ・管理部門の業務効率化、ペーパーレス事例 	1.5
	3	DX推進の目標設定と解決策	<ul style="list-style-type: none"> ・ビジネス目標とDX推進目標の連動～And志向 ・業務プロセス分析推進人材、データ分析推進人材等の育成とプログラム作成 ・IoT、センサー、ICTの導入計画とROIの検討 	1.5
	4	DX推進の計画と実行	<ul style="list-style-type: none"> ・中長期DX計画の立案と予算確保 ・フロントローディング型実行計画の立案 ・人材ロードマップと教育計画の立案【演習】 	1.5
合計時間			6.0	